

2018年2月14日
東京工芸大学**「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展 2018」を中野キャンパスで開催
— 特別企画「土門拳賞」受賞写真家の梁丞佑(ヤンスンウ)氏が来学 —**

東京工芸大学(学長:義江龍一郎 所在地:東京都中野区本町2-9-5、以下本学)は、2018年2月23日(金)–25(日)の3日間「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展 2018」を本学中野キャンパスで開催します。本展は、従来、外部の会場で開催していましたが、昨年より「メディア芸術」の拠点でもある中野キャンパスにて開催しております。

本展の魅力は、卒業・修了予定すべての学生が各々の個性的な発想を元に、最初から最後まで精魂込めて作り上げた作品群が展示されることです。今年度本学を卒業・修了する未来のメディアアーティストによる作品の数々を是非ご覧ください。

さて、今年の卒業・大学院修了制作展では、学生の作品展示・発表に併せて、本学や芸術に因んだ特別企画を実施いたします。

2月24日(土)、2017年写真界の直木賞と称される「土門拳賞」を外国人として初めて受賞した梁丞佑(ヤンスンウ)氏が来学します。現代社会の暗部にスポットをあてた写真家として有名な梁丞佑氏と本学芸術学部長で写真学科教授の吉野弘章とで「東京工芸大学で学んだこと。そしてクリエイターとして」の演題で特別対談を行います。

二人は、本学の「卒業生」という共通点があり、人生のターニングポイントになった本学での「学び」について語ります。

■梁丞佑(ヤンスンウ)氏と吉野弘章学部長との特別対談 「東京工芸大学で学んだこと。そしてクリエイターとして」
2月24日(土) 12時~13時 東京工芸大学中野キャンパス1号館 1B01教室

◆「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2018」の概要

会場となる東京工芸大学中野キャンパスは、「メディア芸術の拠点」を形成すべく2009年からキャンパス全体をリニューアルし、2014年完了しました。また2019年4月から芸術学部生全学年の就学キャンパスが中野キャンパスに集結し、教育環境の一元化をおこないます。今回の一元化により、本学が目指している「メディア芸術の拠点」の確立をさらに推し進めるものであります。

これからもあらゆるスタイルで「メディア芸術」を発信し続けるこの中野キャンパスで、卒業・修了予定者の作品発表の集大成となる卒業・修了制作展を開催します。

<開催日時> 2018年2月23日(金)13時~20時
2月24日(土)10時~19時
2月25日(日)10時~17時

<開催会場> 東京工芸大学中野キャンパス
東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線「中野坂上」駅下車 徒歩7分

※会場は駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
東京工芸大学 中野キャンパス事務部学生課
電話：03-5371-2674 (直)